

クオリティインディケーター(QI)成果報告 〔眼科〕

指標名

内眼手術後の感染性眼内炎の防止

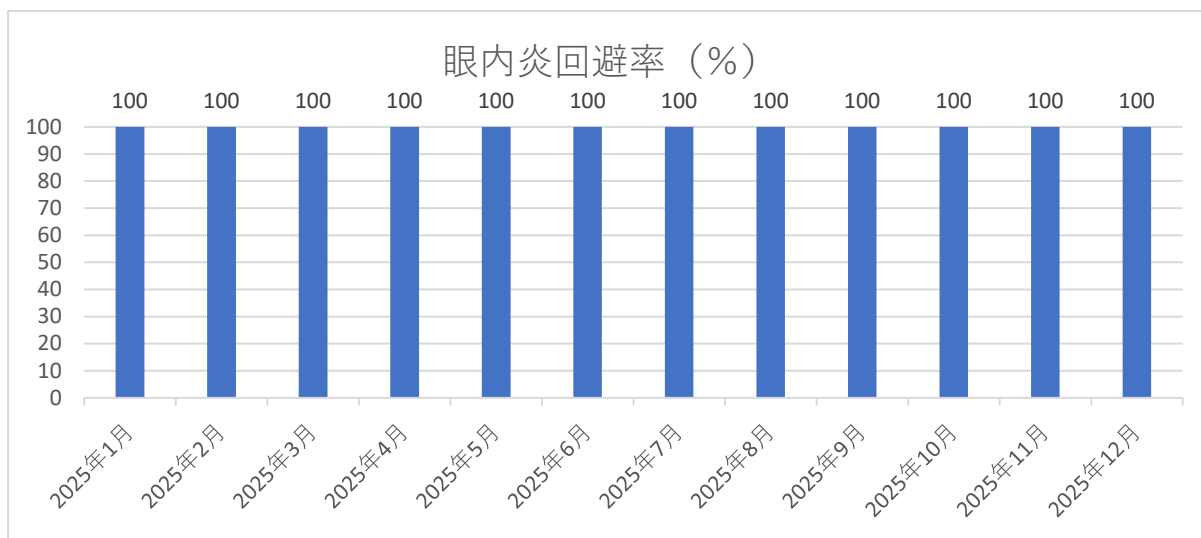
目標・ゴール

内眼手術での術後感染性眼内炎を0にすること

目標・ゴール達成による効果

術後感染性眼内炎という重篤な合併症をなくすことで患者さんの視力予後向上に寄与すると考えられる

目標・ゴールに対する成果の状況



目標・ゴール達成度

※該当項目に☑をつけてください

- ☐S :大幅に目標を上回った
- ☐A⁺:目標を多少上回って達成
- ☒A :目標を達成
- ☐B⁺:目標を少し下回った
- ☐B :目標を下回った
- ☐C :目標を大幅に下回った
- ☐ー :外的要因により継続困難となった。

目標・ゴールの課題・改善策

院内発生術後感染性眼内炎は発生せず、目標を達成できた。

内眼手術の術後感染性眼内炎の発生率は0.02～0.05%程度のため、偶発的に少なかった可能性も否定できない。引き続き術後感染性眼内炎の発生数をモニタリングし、術中・術後の感染管理対策実施状況の確認や見直しに役立てていく。